



特例認定 NPO 法人三段峡－太田川流域研究会

I 総括

南峰と露翠が出会い 100 年目の 2018 年は「出会い」をテーマに、町内外の団体や個人と繋がりパートナーシップ構築を目指し、

予想以上に多くの縁に恵まれた。組織基盤強化に注力した 1 年でもあり、広島県より特例認定 NPO、非営利組織評価センターよりベーシック認証を取得した。全 10 回の組織基盤強化研修を事務局や理事・会員と受講するなど取り組んだ。

事業活動の実施の中でそれぞれに「指標」を定め、「成果（アウトプット）」と「成果による変化（アウトカム）」の測定を行い、事業のチェックと改善のサイクルの意識を目指す中で、環境省の事業「SDGs ローカルアカデミー」受け入れを経て、SDGs と関連させた指標を作成した。

（リサーチ）

歩く会として、ビジターセンターの展示物作成と素材集めなど専門家を招聘してフィールドワークから知見を得た。自然に対して造詣の深い会員を得て、組織内部での自然研究が深まりつつある。

（インタープリテーション）

川嶋直氏を講師に招聘しての講座を開催し、インタープリテーションの基礎を学んだ。講座受講者とともに地域の子供達を招いて自然体験教室や、広島市子ども会へのジュニアリーダー養成講座と実践につながった。

（ファシリテーション）

「あきおおたの楽しい 100 人」と「長期総合計画を読み解く会」を企画し、地域つくりへの取り組みを強化した。さんけんの安芸太田町内での認知度を向上させる効果もみられた。